

令和4年度（2022年度）第5回三者懇談会（吹田市立岸部保育園）

- 1 開催日時 令和4年10月6日（木） 午後6時～午後7時
- 2 開催場所 岸部保育園 遊戯室ほか（保護者の参加者、あおば福祉会の常任理事及び園長予定者はZoomにて参加）
- 3 出席者 岸部保育園父母の会会長、その他保護者13名
社会福祉法人あおば福祉会（常任理事、合同保育職員3名（園長予定者、主任予定者、保育士代表）
吹田市児童部職員（児童部長、子育て政策室参事、保育幼稚園室参事、岸部保育園長、子育て政策室主幹、岸部保育園長代理、子育て政策室主査、子育て政策室主任、岸部保育園保育教諭）
- 4 議題
 - 1 合同保育の報告
 - 2 あおば福祉会からの提案
 - 3 引継ぎ状況
 - 4 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第5回三者懇談会を開会いたします。
開会に当たりまして、児童部長から御挨拶申し上げます。

児童部長： 岸部保育園では、来年4月のあおば福祉会への移管に向けて、合同保育が行われており、半年が過ぎました。あおば福祉会から来られている3名の方々と、園児たちが仲良くなって、日々の保育や行事を一緒に進めていることをお聞きして、安心しています。

今回はZoomでの開催となりましたが、保護者の皆様、あおば福祉会の皆様にも、御協力をいただきながら丁寧に説明させていただいて、情報共有、意見交換の場としていただければと思っております。

また、次回、12月の三者懇談会では、令和5年1月から合同保育に参加するあおば福祉会の職員の皆様を御紹介していただく予定です。これからも引き続き、三者懇談会に御参加をお願いしたいと思います。

本日は様々な御質問や御意見を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

吹田市： 次に、資料の確認をさせていただきます。

（資料の確認）

吹田市： 出席者の御紹介をさせていただきます。

まず、移管先事業者である社会福祉法人あおば福祉会の皆様を御紹介いたします。

あおば福祉会： 今日までの合同保育において、私どもの職員が、楽しく学びのある引き継ぎをさせていただいており、感謝申し上げます。

本日は、あおば福祉会からも提案させていただき、保護者の皆様並びに吹田市とも情報を共有し、4月に向けて方向性を確認したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

吹田市： （出席者紹介）

2 合同保育の報告

吹田市： 岸部保育園では令和4年4月から合同保育が始まっており、実際にあおば福祉会の職員の方々にお越しいただき、引継ぎを進めております。岸部保育園保育教諭から状況について報告させていただきます。

吹田市： （岸部保育園乳児担当保育教諭）0・1・2歳の乳児クラスには小澤先生に入っ
ていただいています。0歳児クラスは4月、1歳児クラスには5月、7月、2歳児
クラスには6月、8月に入っただき、9月、10月は運動会に向けて遊んでい
る姿を見てもらうため、日替わりで各クラスに入っただいています。

各クラスの年齢に合わせて関わりながら、子供たちの姿を丁寧に見ていただ
いて、春に比べておしゃべりが増えたことや、お友達との関わりが増えたことにつ
いて、半年の成長として一緒に感じていただいています。

私たちも、今日は素敵な姿がありましたと伝えたり、逆に小澤先生から、昨日は
こうだったけど、今日はこうですと言っただいたり、日々の何気ない姿も共有
しています。

子供たちも小澤先生が大好きになっていて、0歳児クラスでは人見知りをするこ
となく安心して過ごせています。1歳児クラスでは、小澤先生はどこかなと聞くと、
ちゃんと指差して教えてくれています。2歳児クラスでは、小澤先生と呼んで追っ
ていく姿があり、クラスに入る日だと分かったら、うれしそうにする姿もありま
す。子供たちにとって、小澤先生は安心して過ごせる存在になっていると感じていま
す。

これからの後半の保育も連携して、子供たちの日々の姿を共有しながら、子供た
ちが安心して過ごせるようにしていきたいと思っております。

吹田市： （岸部保育園幼児担当保育教諭）春から酒井先生には、3・4・5歳児の各クラス
に1ヶ月ごとに入っただき、6月のデイキャンプにも入っただいて一緒に
取り組みをしました。

夏祭りでは酒井先生、小澤先生にも参加していただき、職員の出し物や、太鼓も
一緒に練習してきました。

クラスでは一緒に集団遊びをしたり、身体を動かしていく中で、子供たちは酒井
先生が好きになって、園庭で見かけると名前を呼んで行って、いろいろとおしゃべ

りをしています。

生活の中では、子供たち一人一人の思いを受け止めながら、丁寧に関わっていただいています。また、子供たちの様子を共有する中で、日々の保育についても、一緒に考えていただきました。

これからもいろいろな行事に向けての取り組みや、クラスにも入っていただき、一緒に進めていきます。

あおば福祉会：（中村園長予定者）前回の三者懇談会以降に、夏の行事として、七夕や平和の集い、プール参観や夏祭りなどがありました。今は運動会に向けての子どもたちの心や身体の育ちを中心にしています。

コロナ禍で中止となった行事もありますが、岸部保育園の先生方ができる形で実施されていますので、これまで大事にしてきたことを知ることができています。平和の集いでは平和祈念資料館と連携していることをお聞きし、施設に見学にも行きました。

また、囑託医の先生に御挨拶に行き、契約を進めるなどの準備を進めているところです。

あおば福祉会：（酒井主任予定者）私は主に3・4・5歳児クラスに入らせていただいています。

夏の行事では、職員の方々と一緒に夏祭りの太鼓に参加させていただいて、とても楽しく太鼓を叩かせていただきました。

今は、運動会の取り組みが中心で、それぞれの年齢の発達に合った取り組みをしています。あおば福祉会でも同じように大切にしていることなので、大事なことだと思っています。

幼児クラスでは課題に向かっていくときに、大丈夫かなとか、できるかなと気持ちが揺れたりすることがあります。今日もリハーサルがあって、どきどきしているように取り組めなかったりするような姿もありますが、友達に励ましてもらったり、岸部保育園全体で子どもたちを応援したりして、支えたり、温かく見守っている姿があって、その中で少しずつ子どもたちが変化していく姿を見て、すごく大事なことだと思っています。

だんだん子どもたちが変わっていく中で、できるようになったことをすごく嬉しそうに、誇らしげに伝えてくる姿があります。そんな子どもたちがたくさんいて、本当にうれしく思っています。生活にもそのことが結びついています。

3歳児はピーマンマンのごっこ遊びの取り組みをしています。今日、給食室の先生と連携されて、ピーマンがおかずに出ました。ちょっと苦くて食べにくい食材ですが、頑張らず残さず食べる姿がありました。4・5歳児も、いっぱい食べています。食べることに意欲が出てきている姿があって、生活や遊びがつながっているということも見させてもらっています。

運動会では、保護者や職員の皆様と一緒に、子どもたちの成長を喜び合いたいと思っています。

あおば福祉会：（小澤保育士代表）4月から0・1・2歳児に入らせていただいて、一緒に保育をさせていただいています。その中で、子どもたちと関わりながら、一人一人

の生活している様子を見させていただいています。

4月から半年がたって、子どもたちの自分の思いを行動や言葉で伝えること、友達と関わりたい気持ちが芽生えてきている姿など、いろんな場面で成長を感じて、岸部保育園の先生方とも、一人一人の子どもたちの育ちを共有できるようになってうれしく感じています。

保育内容において、8月は、夏の水遊び、プール遊びをはじめ、いろんな感触遊びに取り組んでおられて、水、砂、どろんこなどいろんな感触に触れて、身体を使って、子どもたちが楽しんでいる姿が見られました。

9月から運動会に向けての取り組みが始まって、保育園で身体づくりを大切にしていって保育をされて、子どもたちはいろんな活動を楽しみながら毎日生き生きと活動に向かっています。

先ほど、園全体でという話がありましたが、お兄ちゃん、お姉ちゃんがしていることに、乳児クラスの子どもたちがすごく興味を示していて、夏祭りのお神輿、花笠とかに取り組んでいる音楽が流れたら見に出ています。担任の先生から花笠があるよと言ってもらうと、すぐに準備もしていて、子どもたちの思いや願いの大切さを改めて感じました。

子どもたちの育ちや、岸部保育園の大切にされている保育を来年1月や4月から来る職員にも丁寧に伝えていきたいと思えます。

3 あおば福祉会からの提案

吹田市： 参考資料1「令和5年度給食費に関してのご提案」について、あおば福祉会から御説明をお願いします。

あおば福祉会： 事前に配付させていただきました、来年度の給食費の変更に関して、御説明させていただきます。

配付後の保護者アンケートでは40の家庭から御回答をいただき、ありがとうございます。その中にも書いてくださっていましたが、今はどの家庭でも、物価高騰の影響を受けておられると思います。保育園も同じく影響を受けていますが、子どもたちの育ちにつながる食に関して、できるだけ変わらないように努力をして、子どもたちの育ちを保障していきたいと思っています。

アンケートの中にも、質を落とさないでくださいという声がありました。私たちも同じ気持ちだと思っています。法人として民営化を受けた保育園が4園ありますが、どの園も法人の給食への変更と、積極的な食育活動を取り入れてきて、その結果、保護者の方も子どもたちも、大変喜ばれていると聞いております。子どもたちも、給食やおやつをととても楽しみにしていて、「今日の給食、何かな」と、給食室をのぞきに来て、お話をして楽しんでいる姿があります。

法人として、食を柱に大切にしていって、給食では食べる喜び、そして食べたいという気持ち、生きる喜びを育てていきたいと思っています。クッキングや、栽培活動などのいろいろな食の活動がありますが、食材の変化を楽しんで、愛情をかけて育てた栽培物のおいしさに感動し、食を通す活動が、子どもたちの育ちへ与える影響は本当に大きいと思っています。

子どもたちの笑顔あふれる毎日を作り出すために、今回御提案させていただきます

ましたが、保護者の方にも給食費について考えていただいて、協議していただきたいと思っております。

今回の三者懇談会では質疑応答もさせていただきますので、岸部保育園の保護者の方の思いが変更を受け入れていただくことになれば、4月からの献立づくりや、食育計画の作成にもつなげていきたいと思っております。

今回の御提案をきっかけに保護者の方に、ぜひ協議していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

4 引継状況

吹田市： 参考資料3「岸部保育園の保育等に係る現状と引継ぎの状況」を御覧ください。前回の三者懇談会から本日までの間、あおば福祉会と岸部保育園では、引き続き保育内容についての引継ぎ協議を進めてまいりました。現在の引継ぎ状況をお伝えいたします。

吹田市： 引継ぎの状況については、三者懇談会で都度報告をさせていただいています。今回は、毎日の持ち物や前回協議中であった給食費や写真販売のところも、追記しています。特に保健の部分については、あおば福祉会の予定を詳しく書いていただいています。保育の行事につきましても、この半年の間で行った項目についても書いていただいています。次回の三者懇談会でも引き続き項目を追加してお示ししていきたいと思っております。

あおば福祉会： 写真販売に関して、前回の三者懇談会でネット販売への変更についてお話しさせていただいております。その際は、1枚60円とお伝えしていましたが、もう少し安い業者を探した結果、1枚50円の業者を見つけましたので、その業者でネット販売を進めていきたいと思っております。

また現在、保護者の方と保育園が活用されているHOICTは引き継げないということを確認しているため、保護者の方にメールを配信することも、併せて考えていかなければいけないのですが、この業者であれば、写真販売に併せてメールの配信機能もあるとお聞きしています。

そのため、写真販売の開始とか、写真販売の締め切りのお知らせを丁寧に届けられると聞いております。保育園ですと、丁寧に保護者の方の一人一人に声をかけることはすごく難しいですが、この業者を利用するメリットとして、保護者の方にも便利な機能がついていると思っております。

あとは、行事でのカメラマンの派遣が無料で依頼できるということもお聞きしておりますが、そういった写真は少し割高になるということです。それらは保護者の方に選んでいただけるということもお聞きしています。

いろんなことに対応していただくことができる業者ですが、個人情報というところでは、しっかりとされている業者です。

前回のアンケートで、数名の保護者の方から、写真のネット販売を進めてほしいとの要望をいただいております。あおば福祉会としても、保護者の意見を取り入れてネット販売を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

5 質疑応答

吹田市： 参考資料4-1及び4-2を御覧ください。

先日、三者懇談会の事前アンケートを実施しました。懇談会当日に来ていただいて、お話をさせていただくことがかなわない方からも、御意見や御質問等をいただいていますので、それについても考え方を示しています。

不明な点やもう少し詳しく説明が必要なことがあれば、この場で御説明させていただきます。

あおば福祉会： 給食について補足説明をさせていただきます。

法人として大事にしているのは、旬の食材を取り入れていくことです。季節を知ることになり、また免疫力を高めていくことにもなります。身体づくりにもつながるので、旬のものに出会うことは大事だと考えています。子どもたちは大きくなる過程でいろいろなものに出会いますが、どんなものがうれしいか考えます。一方で噛む力をつけるには、するめや骨付き手羽先等も取り入れます。かじる経験を入れる給食メニューを考えています。

子どもたちが食べることがうれしいと思えるように、好きな絵本のメニューも取り入れたこともあります。嫌いなものともどう出会っていくか、例えばきのこが嫌いとかということがあると思いますが、嫌いで終わるのではなくて、どうやってきのこに出会っていくか、食材に触れてみるとか、お手伝いをする事など、出会い方を考えてみると子どもたちが少し食べてみようかと思ったりすることもありますし、食べやすい献立を考えたりして工夫します。

旬の食材を取り入れながら、子どもたちの姿に合わせて献立づくりをすることが法人として大事にしていることです。

保護者： 給食のメニューは魅力的で、説明もよく分かりました。

これまで、現状のまま引き継ぐと言われていましたが、給食については負担が増えるのですが、現状の金額のままではいけなかったのか、金額の根拠を教えてください。

クッキング保育の費用も含まますとのことですが、田植えなどの栽培についてはどうですか。また、お弁当日は遠足以外にも定期的にあるのですか。給食の回数が減っても給食費は提案のとおりですか。

あおば福祉会： 給食費の妥当性について、お配りしている資料を見ていただいたら、よく分かると思うのですが、基本的に国が示しているのは、主食費が3,000円です。現在、岸部保育園に通われている保護者の皆さんは800円を支払っていただいています。一般的には1,500円ぐらいいは掛かっているというのが現状です。

さらに物価高騰に合わせて、他の食材も増えていますので、国の若干の補助があったとしても、民間保育園では主食費が1,500円、副食費は4,500円、合計6,000円というのが一般的な妥当性のある金額だろうということになっています。これまでの民営化を受けられた各法人も、現状ではもう1,500円以上になっています。

あおば福祉会では、物価高騰も合わせて考えて、1,500円と4,500円の

合計6,000円と提案させていただいております。

クッキング保育は、今の岸部保育園ではクッキングをしたら別途徴収になっているかと思いますが、私たちの考え方は、日常食べるものにつきましては子どもたちがいただくものだから給食の一部ですということで捉えていますので、ここは別途徴収しないと考えています。

保育にはいろいろな柱があります。食べることを柱にしたいという保育内容があれば、音楽表現というところを柱にする保育もあります。あおば福祉会は、クッキング保育というのは、生きる力につながると考えていますので、単に生きる力でということではなくて、作った喜びは、「人とともに作る」と、「人と繋がり生きる」という、掲げている方針にも関連していますので、クッキングについても別途徴収は行わないことにしています。

また、田植えとか栽培についての別途費用ですが、それは保育の中で行うことですので、これについても別途徴収はございません。

お弁当日につきましては、毎月作っていただくということではないと思っています。一つは、子どもたちの保育活動の充実というところでも願っています。この秋の気候のいい時期に、屋外でたくさん身体を使って遊ぶ経験をしたい、自然の中で遊ばせてあげたいと思うと、お弁当を持って行って、みんなで食べるというのは子どもにとっても大切な経験だと思います。特に、お父さんお母さんが一生懸命作ってくれたお弁当は、やっぱり意味合いが違ってくるのではないかと考えています。そういう意味での御協力をお願いできればと思っています。

また、子どもたち自身もお弁当を作っていくという、さっきのクッキングにつながりますが、子どもたち自身もお弁当づくりを自分たちで実現していく、日々のお父さんやお母さんたちが作ってくれるお弁当が、また自分たちのお弁当づくりにも繋がっていくということです。

それと、年末年始とかお盆は、食材の調整がなかなか難しいと、公立の保育園でも人数が大幅に減って、食材を処分せざるを得ないとか、学校等でもそういう報道もありますので、やっぱり若干調整したいところにつきましては、お弁当の御協力をお願いできればと思っています。

保護者： 卒園アルバムとか文集は、あおば福祉会の民営化された保育園では、今どうされているのですか。保護者が作っているのか、保育園で提供されているのか、どうされていますか。

あおば福祉会： あおば福祉会としてアルバムを作りましょうとか、保護者に作ってもらいましょうという方針はありません。それぞれの園の成り立ちや歴史がありますので、これまで大切にされてきたことを継承していくことにしています。

箕面市の民営化園では、保護者会が作っていました。手づくりの卒園アルバムであったり、一部業者に依頼されたりというケースはあります。基本的には、今、園でされていることを引き継いでいくと思っていますので、卒園アルバムは、取り組まれていることをまず実施していただきたいと思っています。もし、こうしていきたいということがあれば、御協議の場を持ちたいと思っています。

保護者： 保育内容ではないのですが、職員の先生方の靴を入れるところが、いつもすごく

使いにくそうです。スムーズに使えるように早く直してあげてほしいと思います。少しストレスがなくなるのかなと、見ていて思っております。

吹田市： 園の修繕に関しては、あおば福祉会に移管するに当たって、支障がないように心がけて実施させていただいていますが、細々したところは目が行き届いてないところがあったのかなと思います。確認をさせていただいて、何かできることを考えたいと思います。

保護者： 送り迎えをしているときに、子供と一緒に今日の給食のサンプルを見ているのですが、夕方まで展示してその後はどうされるのですか。廃棄するならば写真でもいいのではないのでしょうか。また、展示の入れ物が子供には高くて見づらいので見やすいようにしてください。

あおば福祉会： 見やすい展示は大事なことと思います。今の状況を改善できるならば今していただきたいと思います。

保育園の給食は2時間以内に食べることになっていますので、展示の給食は食べることはできないので廃棄します。もったいないという考え方もわかりますので、子どもや保護者にとってどういう方法がいいのか検討してみたいと思います。

貴重な御意見ありがとうございました。

吹田市： 他に質問はありますか。Zoomでの参加の方はいかがですか。なければ、本日はこれまでにしたいと思います。最後にあおば福祉会から何かございますか。

あおば福祉会： 本当にお忙しい時間に御参加していただき、ありがとうございます。本日、三者懇談会で提案させていただいた内容は、討議した結果、この方向で進めることにさせていただくことを確認したいと思います。新年度に向けて、入園のしおりや重要事項説明書にも金額を入れたり、資料を作成して皆様にも御提示したいと思いますので、それでよろしいでしょうか。決定する時期をどうするのかも含めてお伺いします。

吹田市： この場に参加されておられない方や、参加していただいた方も含めて、三者懇談会開催後に、なるべく早くアンケートを実施させていただいて御意見をいただく予定です。そのような形で進めることでお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

6 閉会

吹田市： 次回は、令和4年12月頃に開催し、1月からの合同保育職員の御紹介と合同保育の進捗状況についての報告等をさせていただきたいと考えておりますので、あおば福祉会と父母の会会長と調整させていただき、日程を報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは、本日の三者懇談会を終了させていただきます。